



はろろんNEWS

NO. 11
H20年9月

現在、学区ごとにも計画策定に取り組んでいます。そのトップバッターである、滝川学区の計画策定作業も順調に進んでいます。学区の住民の方々の話し合いの中で、学区や町内などの小さい単位だからこそ出てくる課題やアイデア、人や社会資源などに驚かされます。職員間の会議でも、次の5年間はこうした、より身近な地域での福祉活動が活性化されることを目指して社協は動いていこうと決意を新たにしたところです。今後はそれが実現されるための具体的なしくみについて、考えていきます。

9月の経過報告

昭和区社協ホームページに策定経過をアップしました！！ ご覧ください！！

<http://www.showaku-shakyo.jp>

- ◆9/8 滝川学区 第2回作業部会
全体ワークの中でみなさんから出た「こんなまちにしたい」をもとに話し合い、大きく4つの理念がまとまりました。
- ◆9/8 第8回専門職部会
専門職同士がつながるための4月以降のネットワークの持ち方や、各分野の情報を集めた冊子について検討しました。
- ◆9/24 滝川学区 第3回作業部会
これまで話し合ってきた理念と課題の関係を整理し、そこから考えられる取り組みについて意見を出し合いました。
- ◆9/17 ワーキンググループ世話人会
各ワーキンググループの進捗状況を報告し合いました。また、これからの作業の進め方についても協議されました。そのなかで「地域」と言っても様々な単位があるので、今後は名古屋市・昭和区・学区・町内という4つの層を設定し、それぞれどの層を想定することなのかを意識して作業をしていくことになりました。さらに世話人さんから「計画ができてからも、計画が実行されていくように実施体制や進行管理についてきちんとしていくことが大切だ」というご意見もいただきました。
- ◆9/17 プロジェクトチーム会議 各会議の経過確認と今後について/業務分析③
- ◆9/19 学区担当者会 学区で理念をまとめるためのワークの組み立て
- ◆9/22 職員ミーティング 事業分析をしていくための方針の確認
- ◆所属別研修 <デイサービス部門>9/1・9/9・9/16 <訪問介護部門>9/3・9/10
<包括支援センター部門>9/5・9/12 <ケアマネ部門>9/5
- ◆ワーキンググループ (メンバーからのレポートは裏面)
<福祉課題>9/4 <担い手>9/8 <場づくり>9/19 <福祉意識>9/22

10月の予定

- ①プロジェクトチーム会議 10/15 (水) 14:00~16:00
- ②第9回専門職部会 10/7 (月) 19:00~21:00
- ③ワーキンググループ <担い手> 10/7 (月) 18:00~20:00 10/28 (火) 18:00~20:00
<場づくり>10/3 (金) 15:00~17:00 10/21 (火) 15:00~ 10/30 (木) 16:00~18:00
<福祉意識>10/27 (火) 17:00~19:00 <福祉課題> 10/16 (木) 10:00~12:00
- ④学区担当者会 10/15 (木) 10:00~12:00
- ⑤学区計画 滝川学区 作業部会④ 10/21 (火) 9:30~11:30
- ⑥職員ミーティング 10/3 (金) 9:30~ 10/9 (木) 14:00~ 10/23 (木) 9:30~ 10/30 (木) 13:30





福祉課題

【第3回 9/4 9:00~】

■今年度の活動が、平成21年度からの5ヶ年間にどうつながっていくのかを再確認。

■多種多様な福祉課題は、近所づきあいで解決できることが望ましいが、現実には困難だと思われるので、社会として仕組みを作ろうと話してきてきました。既存の組織や団体があること、人を頼るとその人が動けなくなった時に機能しないといったことから、近所づきあいの距離感ではなく、区全域をイメージしてとりかかる予定です。まず、区内の組織や団体の（役立つ、使える）活動を調査します。この調査結果をまとめて情報提供することによって、既存の組織や団体の力を借りて課題を解決することができます。組織・団体にとっては相談を受けることでニーズの把握にもつながります。合わせて組織・団体同士の交流の機会をつくり、関係性を育むこともしていこう、といった方向性の確認をしました。

■方向性の確認後→調査についての意見交換を行いました。 【江口さん】



担い手

「担い手」のワーキンググループでは前回出された課題の整理と解決に向けての入口あたりまで話が行われました。

その中で特に中心的に話し合われたことが、リタイアした人の中で福祉に興味関心がある人材は多くいるはずだが、その人たちをどのように発掘するかということについてです。

手法としては目的（ニーズ）によってターゲットを定めて、周知していく方法がよいと考え、人のつながりを考慮すると地域単位で集めることがより効率的ではないか・・・と考えました。

その場合、推進協の中でこの機能を持つことが理想的であり、その機能を実質的に稼働するように人を配置する。その陣頭指揮を社協に頑張ってもらい、ひとつの「人材バンク」的な組織が地域福祉の基礎となりうるのではないかと・・・と結ばれました。

今回の話し合いでは、前回の漠然としたアウトラインから、やや具体的な話に進展しました。あと残りわずかな話し合いですが、より具体的な話にしていくことができたらよいと思います。 【石塚さん】

ワークサロンのメンバーの声



場づくり

9/19（金）第3回WG

まず、「緑区たまり場交流会」に参加されたメンバーから報告がありました。「たまり場マップ」など具体的な資料をもとに緑区の活動の様子を話していただき大変参考になりました。

今回は、前回話し合った「どんなたまり場がいいか？」というテーマを掘り下げて、

○場所をどう探していくか？

⇒民間企業、商店、個人などが所有する空き部屋を借りるためのマニュアル作成

○世話人をどうやってみつけるか？

⇒どこでも同じ人がやっている、若い男性を巻き込む方法は？

の2点について話し合いました。メンバー6名、それぞれの経験・立場から様々な意見が出て、ともすれば横道にそれがちな話を世話人の日比野さんが上手にまとめて下さいます。回を重ねるごとにメンバー相互の人柄も段々わかってきて話はずみ、あつという間の2時間でした。今後はサロンの現状を認識し、問題点を探るため、いくつかのサロンを見学させていただこうということになりました。11月の全体会議までにみんなの思いが一つにまとまりますように・・・これから忙しくなりそうです。

【佐久間さん】



福祉意識

9/22（月）に4回目のWGを開催しました。今回から「のびたくらぶ」の塚本さんも参加してくださり、「認め合う気持ちを醸成していくためにどんな事業を展開していくか」ということを議題に、各自が3つずつの事業案を持ち寄り話し合いました。

「幼児と保護者を対象にした福祉意識啓発事業」や、「学生を対象とした障害のある人による講演事業」、「防災にからめてバリアフリーを考えさせる事業」から「ともに第九を歌おう」、「障害のある方と住んでいる区域の点検作業」など、さまざまな意見が出されました。

保育園や学校などの協力を必要とするものが多かったので、どのように協力を要請していくのかについても話し合いました。

今後は、出てきた事業案について、事業内容がより具体的なものになるように話し合いを進めていきます。

【小林さん】

